

北地域後援会是我孫子1～4・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア

アジサイ



しらかば北

発行責任者
井上文夫
(部内資料)

船橋まさるさんの 議員活動を振り返る



船橋まさる議員

船橋まさるさんは2023年11月19日の我孫子市議会議員選挙で、前議員の野村貞夫さんの後継者として初当選してから、早くも2年6か月が経ちました。そこで船橋さんの奮闘ぶりを振り返って見ました。

市政全般について

船橋さんが市議会で質問した主な項目(問題)は次の通りです。

①通学路に安全ポールを②アスベストの解体工事に十分な対策と補助を③我孫子4丁目の治水対策を④高齢者宅や障がい者宅への家具転倒防止策実施のため補助を⑤我孫子駅の「みどりの窓口」再開を⑥小中学校に落雷感知器アンテナを⑦補聴器購入に補助を⑧生活保護世帯に夏季のクーラー電気代補助を⑨下水道の老朽化・漏水対策など、大手ゼネコンの現場監督として40年の経験と知識を生かしている」など6件の相談が寄せ質問を始め、多岐にわたる多く

の問題を取り上げました。

これらの中には、①など解決したものがありませんが、多くは未解決のままであり、粘り強く取り組んでいく必要があります。

水道料や社会保険料の大幅な値上げ、市議会議員定数削減には、岩井議員と共に反対しました。また、被爆地・長崎の出身として、平和問題に市としても積極的に取り組むように市に提言しました。

地元に着目した活動

同時に、船橋さんは地元の皆さんの困りごとにも相談に乗っています。

つくし野在住のYさんからの「歩道の凹凸や側溝の蓋が破損して夫の車椅子を押すときに苦労している」という切実な声にも、すぐに市の当局と折衝して、補修が実現しました。

また、船橋さんは千葉土建・とうかつ支部の組合員でもあり豊富な人脈を生かして、住民の住まいの困り事にも、懇切丁寧

に相談に乗っています。

これまでも「水漏れがして困っている」「庭木が伸びすぎて

対応に喜ばれています。

船橋さんは議員になってからまだ2年半の「新米議員」ですが住民の皆さんの声に耳をかたむける、ベテラン議員顔負けの大活躍をされていることが分かりました。

初めて庭木の剪定を業者さんにしてもらいました。

つくし野に住

み何十年もの間、夫が上手に手間をかけ剪定してくれてましたので、他人に頼む必要がなかったのです。夫が出来なくなり、庭はいつの間にかぼうぼうと茂りうっとうしく、業者に頼むことにしました。

そんな時「しらかば北」のニュースで見た船橋市議に相談、数日

お陰さまで

すっきりいたしました！



ギンモクセイ

なお、長い間通学児童たちの踏み切りでの見守りを、議員になっても続けています。これからも頼りになる議員として、ますますの活動が期待されます。(井上)



吉田智恵子さんの絵手紙

後業者を紹介してもらい見積りもして下さり安心して発注することが出来ました。当日は3人で手ぎわよく剪定・樹木の片付け作業にみちがえり、防犯の面でも満足しました。梅雨入りしても気分よく過ごせそうです。(斉藤)

花火

昭和16年12月8日、太平洋戦争開戦の日を当時5歳だった私は覚えてるのです。北海道の父の

従妹が樺太へ嫁ぐ前に東京見物をと、我が家に来ていたのです。

その日は歌舞伎見物に出かけていたのですが、開戦の報で慌ただしく翌日帰ることになったのです。当夜は雪が降り紫地の着物に淡いオレンジの道行コートを雪に濡らせて、早々に帰ることを決断した彼女の姿を覚えています。彼女は私の大好きな親族で、後年樺太時代の話や種々物語になりそうです。▼当時、私が住んでいたのは荒川区の町屋という所ですが戦争での街の変化はなかったように思います。▼幼稚園の年長組になり、遠足もお遊戯会もあり前年と変わらない日々でしたが、ある日突然、2列に整列して園外に出たのです。どこへ行くのか判らないまま何となく楽しい気分、かなり歩いた到達地は隅田川に掛かる「おたき橋」の中央地点、そこで前方にいた先生が何かを川に放り投げたのです。▼それは幼稚園にあったアメリカ人形でした。背丈が70cmもあったように記憶しています。先生からは何の説明もなく、どうして？ どうして？と思いつながら誰も声を発せず、流れゆく人形をみつめていたのです。(中島)

39回目となる我孫子革新懇の総会が6月2日、南近隣センター（けやきプラザ）9階ホールで開かれた。

総会に先立って「あなたの隣のスパイ？〜スパイ防止法ってどんな法律？」と題して東葛法律事務所の長浜有平弁護士が講演した。

わかりやすいレジュメ、具体例をたくさんあげての法律家らしい解説、「スパイ防止法」が極めて危険な、国による市民監視の法であることを話していただいた。

総会では①情勢、②25年度活動報告、③当面の運動の進め方の3点を代表



講演する長浜有平弁護士

我孫子革新懇 第39回総会

世話人3人が報告した。高市政権の軍拡路線、自民維新政権による憲法改悪の危機の進行、しかし新しい形での反戦平和運動の展開も見られる状況にもあること。そして我孫子駅などでの毎月の宣伝活動や革新懇主催の講演会など各種集会への取り組みが行われたことが報告された。

さらに会計報告とその監査報告があり、続いて出席した各種団体からの活動報告が行われた。11人が発言し、それぞれの団体の、さまざまな活動の様子が報告された。

こうした発言を踏まえて革新懇の活動、方針、会計が承認され、最後に26年度の世話人・代表世話人25人が提案され、拍手で承認された。集会の参加者は35人（竹内）

俳句

風光る ランドセルが 走りゆく

潮干狩り 大地の恵みに 笑みこぼれ

灼熱の 軍靴の音が 迫り来る

頼生（湖北台）

おもしろい漫画を見つけた

『公民の王子様 戦争止めてくるわ』というおもしろい漫画を手に入れた。たった24ページの薄い、手作りの漫画本。だけど、鋭いメッセージ性に溢れている。値段はわずか100円。



ページごとテーマが示され、例を挙げると「日本人ファースト?」、「排外主義が招く悲劇」、「武器輸出の拡大」、「スパイ防止法」、「憲法改正は本当に必要?」などなど。

申し込みは竹内まで

080-51193

—1943

* 荒川源流での出会い *

狩猟本能

約50年前、私は荒川の源流を目指して秩父の谷に入りました。前夜の山中での一泊では、夜の冷気が骨身に染み、遠くで風が木々を揺らす音が時折耳に届きました。翌日、滝をいくつも越え、最後の大滝の手前で休憩していると、水面下で大きな倒木がうごめくような気配がしました。近づいてみると、そこには体長50cmを超える大きな岩魚が、浅瀬の水の中で身を横たえ、鰭をわずかに揺らしながら澄んだ水の流に溶け込んでいました。

その瞬間、胸の奥で狩猟本能が燃え上がり、「何としても捕まえて食料にしなければ」という思いに駆られ、私は水へと飛び込みました。岩魚は鋭く身をくねらせ、流れの中を素

早く逃げ回ります。私は夢中で手を伸ばし、岩陰に腕を突っ込んだり、棒で探ったり、水の流れを変えて淵の水を干そうとしたりしました。しかし、岩魚はどこにも見えず、時間だけが容赦なく過ぎていきます。やがて周辺には闇が迫り、「今日はもう目的地にたどり着けない」と諦めざるを得ませんでした。岩魚が逃げ去った悔しさと、自然の中で思い通りにならないもどかしさ、そしてほんの少しの安堵——心の奥に複雑な感情が渦巻きました。

その夜は滝の手前の窪地で野宿しました。山の静寂に包まれ、身体を横たえながら聴いたのは、時折吹き抜ける風の音と遠くで水が岩を打つかな響きだけでした。火の明かりが心細さを照らしつつ、同時に「ここに生かされている」という感謝の念も湧いてきたのです。

翌朝、昨日の岩魚のいた淵をそっと覗き込みました。澄みきった水は、岩肌を滑るように流

五感で生きる——山と私の物語

自然の中で育まれた人生観と体験（柴崎）鈴木清

れ、朝日が水面に反射してキラキラと輝いていました。淵は底まで見通せるほど透明で、ただ水音だけが静かに響きわたります。もう岩魚の姿はどこにもなく、その静けさの中に思わず寂しさが胸を締め付けました。けれども、その孤独と静寂が、逆に心の奥に平穏をもたらしてくれました。自然の中で思い通りにならない現実を受け入れ、ただ「いる」ことの尊さを知った瞬間でもありました。

* 山で得た学びと人生観 *

自然への感謝

山は私にとって、日常の喧噪から離れ、五感と心を研ぎ澄ませて「生きる」ことを実感する場所です。冷たい谷の水を味わい、山の空気が風の匂いを胸いっぱい吸い込み、狩猟本能や諦めの感情、静かな孤独と出会い、やがて自然と一体になる心地よさを学びました。山での一つ一つの体験は、思い通りにいかない現実と向き合い、受け入れ、今在る自分に感謝する人生観を与えてくれました。

山は、私にとって「生きる場所」であり、すべての感覚と心に深く刻まれる、かけがえない存在なのです。

（終わり）